

認知症初期集中支援チームに関する高齢者サポートセンターへのアンケート調査結果および今後の方向性について

1. 高齢者サポートセンターへの調査結果

【調査概要】

実施時期:令和5年8月下旬

実施方法:(株)カナミックネットワークのシステム上でアンケートを送付し、回答

対象:高齢者サポートセンター 全15ヶ所

回答:15ヶ所、18件

① チームに期待する役割

- ・困難ケースへの対応
- ・早期介入
- ・集中的な支援
- ・医療や介護サービスへのつなぎ
- ・アセスメント・課題整理・方針決定・目標に向けた高サポとの協働
- ・専門医による評価・アドバイス
- ・医療連携の橋渡し役
- ・住民へのチームの活動の啓発

② 現在のチームが①の役割を果たしているか

十分である	3
まあ良い	8
どちらともいえない	4
やや不十分である	1
不十分である	1
無回答	1

③ これまでチームに依頼したことのない高サポの意見

- ・高サポ内での相談や協議で対応できている。今後ケースによっては依頼したい。

④ これまでチームに依頼したことのある高サポの意見

【良かった点】

- ・医療受診につながった
- ・チームの関わりの報告など、タイムリーな情報共有
- ・関わりが薄く、認知症の理解が乏しかった家族への対応
- ・市の事業という安心感があり、家族の受け入れがよい

- ・本人の生活状況がより把握でき、見守りや支援の強化につながった

【悪かった点】

- ・高サポの負担軽減にならなかった
 - ※毎回高サポが同行・同席のケースがある、何度も確認の打合せがあった、期待した頻度の訪問ではなく高サポが動くことが多かった、状況が変わらず支援終了になった等
- ・タイムリーな情報共有が不足し、チームの支援状況がみえなかった
- ・依頼したが、断られた

⑤ チームに依頼してよいか迷ったことがあるか(複数回答可)

ある	11
ない	6
依頼しようと思わない	2

⑥ チームに依頼してよいか迷ったことがある、依頼しようと思わない理由

- ・精神疾患の可能性のあるケースを依頼してよいか迷う
- ・依頼して断られたことがあるため躊躇する・意欲をなくした
- ・受け入れ可能なケース基準が曖昧である
- ・どの段階で相談するべきか悩む(ある程度の支援の上でないと依頼できないか等)
- ・チームの動きがみえず、高サポとともに支援するのではなく、報告のみだった

⑦ 今後チームに求めること・意見等

- ・ケースによっては高サポとチーム員の役割分担も必要
- ・家族支援(家族の認識が乏しい、支援に消極的等)
- ・拒否が強い本人や家族への介入力
- ・高サポとの連携を密にし、支援終了後の引継ぎがスムーズに行えるよう配慮してほしい
- ・民生委員や医療機関、市民などへチームの周知強化

2.今後のチームが目指す方向性(案)

- ・精神疾患の有無、本人や家族の同意の有無を問わず、まずは相談を受け、チーム員会議にかけたうえでチーム員が対応するかどうか検討していく
- ・高サポとの情報共有を密にし、連携を図っていく